

MILITARY MINIATURES



TAMIYA

1/35 SCALE U.S. INFANTRY WEAPONS SET

アメリカ小火器セット

★READY TO ASSEMBLE PRECISION MODEL KIT★MODELLING SKILLS HELPFUL IF UNDER 10 YEARS OF AGE



COLT .45 CAL
M1911A1 AUTOMATIC
M1911A1 拳銃



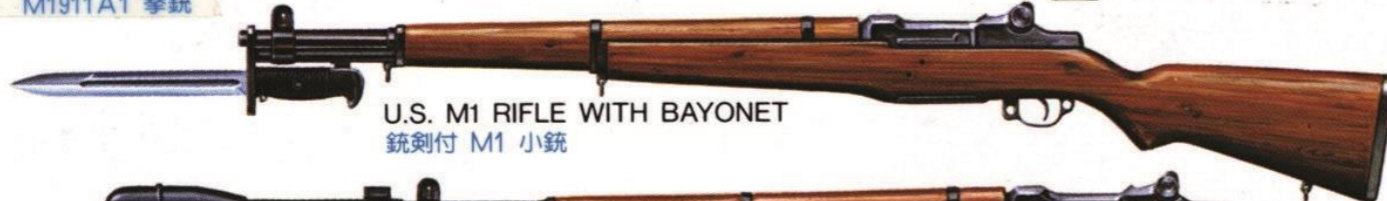
S & W .45 CAL
M1917 REVOLVER
S&W M1917 拳銃



U.S. M1A1 SMG (THOMPSON)
M1A1 トンプソン 短機関銃



U.S. M3 SMG (GREASE GUN)
M3 グリースガン 短機関銃



U.S. M1 RIFLE WITH BAYONET
銃剣付 M1 小銃



U.S. M1 RIFLE WITH GRENADE LAUNCHER
榴弾発射器付き M1 小銃



U.S. M2 AUTOMATIC CARBINE
M2 カービン



U.S. M1 CARBINE
M1 カービン



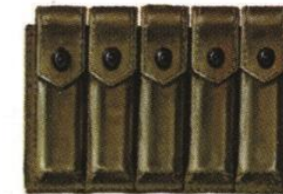
U.S. M1 RIFLE (GARAND)
M1 ガーランド 小銃



U.S. M1903A4 RIFLE (SPRINGFIELD)
M1903A4 スプリングフィールド 小銃



BAR M1918A2 (BROWNING AUTOMATIC RIFLE)
BAR M1918A2 (ブローニング オートマチック ライフル)



MAGAZINE POUCH
FOR M1A1 SMG
M1A1 SMG弾倉ケース



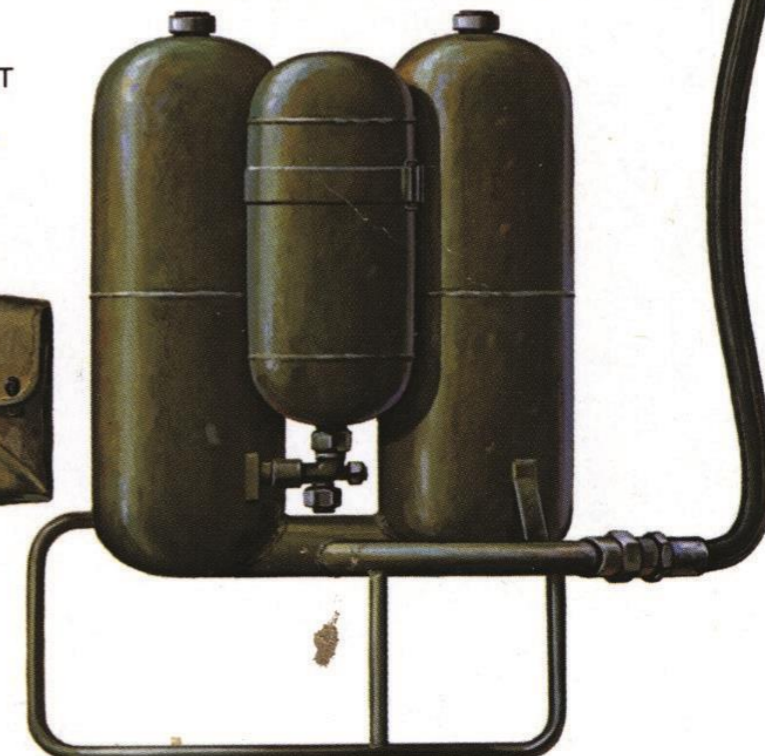
MAGAZINE POUCH
FOR M3 SMG
M3SMG 弾倉ケース



M2A1-7 PORTABLE
FLAME THROWER
M2A1-7 携帯用火炎放射器



LIGHT WEIGHT
GAS MASK
ライト ウェイト
ガスマスク



MILITARY MINIATURES

1/35 SCALE U.S. INFANTRY WEAPONS SET

アメリカ小火器セット



2.36" ROCKET LAUNCHER (BAZOOKA)
2.36インチ ロケット ランチャー (バズーカ)



2.36" ROCKET
2.36インチ ロケット



U.S. .50 CAL M2 HMG AIRCOOLED
12.7mm M2 重機関銃



.50 CAL AMMUNITION BOX
12.7mm 弾薬箱



.50 CAL MG BELT
12.7mm 弾帯

M2 RECEIVER COVER
M2 重機関銃 機関部カバー

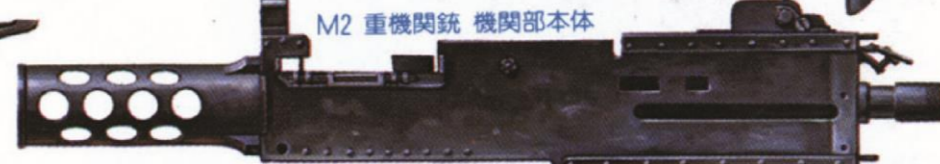


M2 AIRCOOLED BARREL
M2 重機関銃 銃身



U.S. .30 CAL M1919A6 LMG AIRCOOLED
7.62mm M1919A6 軽機関銃

M2 重機関銃 機関部本体



M2 HMG AIRCOOLED RECEIVER GROUP



60mm MORTAR M2
M2 60mm 迫撃砲



57mm RECOILLESS RIFLE M18
M18 57mm 無反動砲



.30 CAL MG BELT
7.62mm 弾帯



57mm RECOILLESS ROUND
57mm 無反動砲弾



60mm MORTAR ROUND
60mm 迫撃砲弾

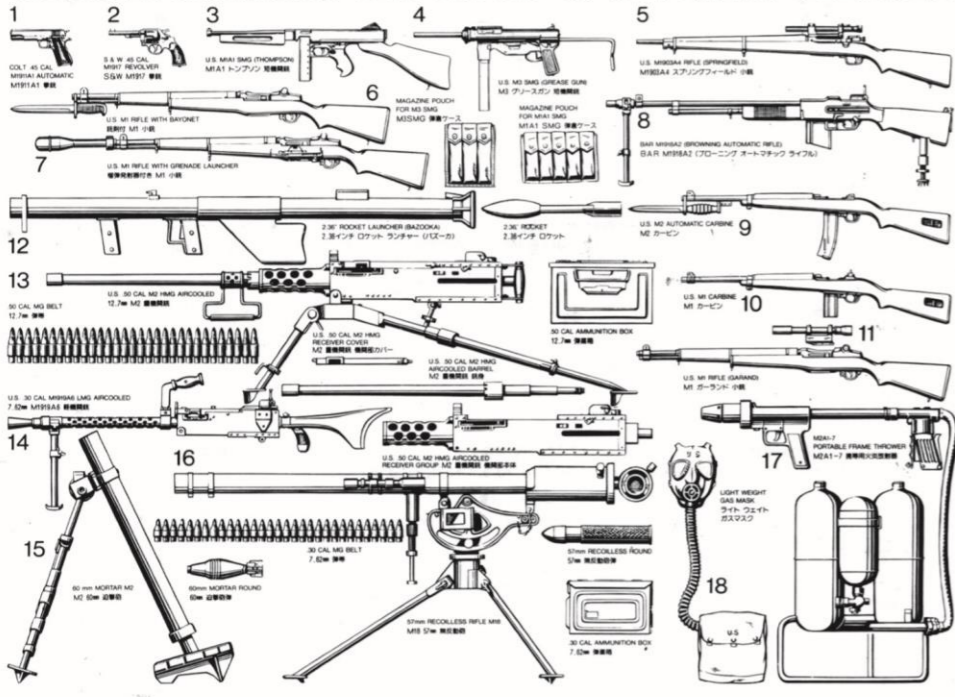


.30 CAL AMMUNITION BOX
7.62mm 弾薬箱

Le modèle ne possède pas de décalcomanies.

MILITARY MINIATURES

1/35 SCALE U.S. INFANTRY WEAPONS SET アメリカ小火器セット TAMIYA



①いわゆるコルト45として知られるM1911A1拳銃は、1911年に自動拳銃として初の米軍制式となったM1911を改良したもので、1926年7月に制式化されました。装弾数7発、実用最大射程約50mで、第2次大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争を通じて現在に至るまで制式拳銃として使われている傑作で、日本や韓国、フィリピンなどでも使われています。

②スミス&ウェッソンM1917拳銃は、第1次大戦中、制式のM1911自動拳銃の生産が追いつかなかったことから、準制式となったリボルバーです。1917年から1919年にかけて、.45口径のイギリス向けが約7万挺、.45口径の米軍向けが約16万挺生産され、その後も現在に至るまで一般市販向けに生産されています。また日本の警察でも使用されました。

③短機関銃(サブマシンガン)は、拳銃弾を使用する小型の機関銃ですが、扱いやすさや威力の高さで第2次大戦頃から各国で広く使われました。トンプソンはトミーガンの愛称を持つアメリカの代表的なサブマシンガンで、M1A1は1942年11月に制式化された量産向けの改良型です。弾倉は20発および30発弾倉を使用、口径は.45、有効射程約200m。他にM1928、M1などがあり、大戦中、1940年から43年にかけて、各型あわせて約150万挺が生産されたと言われます。

④M3サブマシンガンは、グリースガンのニックネームで知られる米軍の代表的な短機関銃です。プレス加工を大幅に採用した製法、金属製の銃床など大量生産のために徹底して量産向けの構造としたこと、そして連射速度を落して扱いやすくなったことが特徴で、1942年12月にM1A1トミーガンにかわるものとして制式化されました。1944年12月に改良型のM3A1が制式化され、大戦の終りまでに両モデルあわせて約62万挺が生産されました。また現在も多くの国でM3、M3A1が使われています。

⑤スプリングフィールドM1903は、米軍用として最も多く生産され、使用期間も長いボルトアクションの連発式小銃です。1903年に制式化、第1次大戦にも使われ、また第2次大戦の始まりに伴って改良型が再生産され、イギリスや中国などによっても大量に使われました。M1903A4は、改良型のM1903A3にM73Bスコープをつけた狙撃用モデルで、1943年に制式化されました。

⑥M1ライフルは、設計者の名前をとってガーランド・ライフルとも呼ばれる米軍初の自動小銃で、第2次大戦、朝鮮戦争を通じて制式銃として使われた傑作小銃です。1936年に制式化、1941年12月から本格的な量産に入り、第2次大戦後期には、第1線のすべての陸軍および海兵隊の兵士に装備されることになりました。1957年5月までに約550万挺が生産され、日本やヨーロッパ、アジア諸国など多くの国々でも使われました。⑦のようにM7榴弾発射器を装備。M9A1対戦車榴弾や対人榴弾を発射することもでき、この場合の射程は約200mと言われます。また⑧のようにM73またはM73Bスコープをつけた狙撃用モデルM1Cなども作られました。

⑧BAR(ブローニング・オートマチック・ライフル) M1918A2は、軽機関銃と自動小銃の中間的な性格のもので、歩兵部隊の火力を高めるために9人編成の1分隊に1〜2挺が装備されました。第1次大戦にも使われたBAR・M1918の発展型で、1940年に軍制式となり、第2次大戦、朝鮮戦争を通じて使われ、また西側の各国にも供与されました。

⑨M2カービンは、M1カービンの改良型で、1944年9月に制式化されました。外観的にM1カービンとほとんど同じですが、30発弾倉を装着すること、そしてセミオート、フルオートが選べるようになったことが特徴です。

⑩M1カービンは、砲兵や工兵など、支援部隊の兵士のために開発された軽量・小型のライフルです。15発弾倉を使用して半自動発射機能を持ち、1941年10月に制式化され、第2次大戦中に約610万挺が生産されました。朝鮮戦争でも広く使われ、また日本の自衛隊にも供与されました。

⑪2.36インチロケットランチャーは、バズーカ砲のニックネームで知られる歩兵用の対戦車兵器です。成型炸薬弾頭を持つ小型のロケット弾を発射するもので、有効射程は130m前後。装甲目標ばかりでなく、ビルやトーチカなどの攻撃にも威力を発揮しました。射撃は、通常、2人の兵士がコンビを組んで行いますが、1942年末、北アフリカに派遣された部隊で使われて以来、簡便で威力ある兵器として、ヨーロッパ戦線、太平洋戦線でも広く使われ、大戦中だけで各型あわせて約250万挺が生産されました。また朝鮮戦争でも、より強力な3.5インチ・スーパーバズーカが登場するまで使われることになりました。

⑫M2重機関銃は、1920年に制式化されて以来、改良を重ねながら今日にいたるまで幅広く使われ続けてきたアメリカの傑作重機関銃です。口径12.7mm、実用最大射程約4000m、発射速度450〜550発/分の性能を持ち、三脚架によって射撃するほか、戦車をはじめ、各種の軍用車輛に搭載され、対地、対空などすべての地上戦闘に姿を見せました。陸軍ばかりでなく、航空機搭載用のモデルは第2次大戦当時からしばらく前のジェット機にいたるまでほとんどの航空機の機銃として使われ、さらに海軍用モデルも多くの艦艇に搭載され、陸、海、空、そして海兵隊を通して米軍の最も代表的な重機関銃となりました。また日本をはじめ、多くの国々でも使用されています。

⑬M1919A6軽機関銃は、1944年から戦線に姿を見せはじめ、朝鮮戦争でも使われた代表的な軽機関銃の1つです。水冷式のM1917軽機関銃を空冷化したM1919A4に、伏せ射撃を可能とするために2脚架をつけたもので、口径7.62mm(0.30インチ)、実用最大射程約2500m、250発弾倉による鉛弾で、発射速度400〜550発/分の性能を持っていました。

⑭M2迫撃砲は、米軍の迫撃砲としては最も小口径のもので、重量約20kg、軽量・小型で運搬、取扱いがやさしいことから、第2次大戦中、広く使われました。口径は60mmで2名の兵士によって扱われ、通常の発射速度は1分間に18発。発射角度は40〜85度で約180〜1800m前後の射程を持っていました。

⑮無反動砲は、アメリカ陸軍のデービスが考えたデービス砲のアイデアを発展させたもので、発射の際の高圧ガスを砲尾から後方に逃がして反動を中和させるもので、これによって複雑な駐退座装置を省くことができ、砲架も小型軽量なものにすることができました。最初に実用化されたのは、ドイツの75mm無反動砲で、これを手本にして米軍が独自のものを開発した最初のモデルがM18無反動砲です。口径は57mm、重量約20kgで最大射程約6500m前後の性能を持っていました。歩兵に重火力を与える携帯用火器として開発され、三脚架による射撃に加えて、兵士が肩にかつての射撃も可能でした。第2次大戦末期の太平洋戦域、そして朝鮮戦争でも使われました。

⑯M2A1-7携帯用火炎放射器は、太平洋戦域に投入されサイパンや硫黄島などの戦いで、ジャングル戦やトーチカの攻撃などに威力を発揮しました。燃料と高圧エアをおさめるタンク部分と点火装置のつくりが異なる2部分で構成され、使用する燃料によって射程と炎の広がりが変化しました。連続放射可能時間は8〜9秒で、ナバームのような濃縮燃料とガソリンを混合して使う場合には細長い火炎を40mぐらい飛ばすことができ、また石油とガソリンを混ぜ合わせて使った場合は、射程は18m前後と短くなりますが、幅広い火炎を放射することができました。

⑰ライトウェイト・ガスマスクは、第2次大戦の始まりと共に作られたもので、あらゆるガスに対応できると共に、その名のように軽量化して兵士の行動の妨げとなるのを最小限におさえることを目的として開発されました。しかし第2次大戦では毒ガス攻撃はほとんど行なわれたことがなく、実際には、このライトウェイト・ガスマスクも一部バズーカ砲の射撃時などに使われたようです。

〈小火器セット組立図〉 各部分の塗装は箱絵を参考にしてください

〈M2A1-7携帯用火炎放射器〉 (M2A1-7 PORTABLE FLAME THROWER) 46, 45, ビニールパイプ, 47

〈2.36インチロケットランチャー〉 (2.36" ROCKET LAUNCHER) 12, 14, 11

〈M2カービン〉 (U.S. M2 AUTOMATIC CARBINE) 51, 28

〈銃剣付M1小銃〉 (U.S. M1 RIFLE WITH BAYONET) 50, 27

〈M1ガーランド小銃 スコープ付〉 (U.S. M1 RIFLE) 27, 2

〈7.62mm M1919A6軽機関銃〉 (U.S. .30 CAL M1919A6 LMG AIRCOOLED) 44, 43

〈7.62mm弾薬箱〉 (U.S. .30 CAL AMMUNITION BOX) 35(閉状態), 35(開状態)

〈射撃姿勢〉 39

〈M3グリースガン短機関銃〉 (U.S. M3 SMG) 31, 32

〈ブローニングオートマチックライフル〉 (BAR M1918A2) 10, 9(開いた状態), 8(閉じた状態)

〈M2 60mm迫撃砲〉 (60 mm MORTAR M2) 7, 5, 4, 3

〈M18用三脚〉 19, 20, 17, 23, 24

〈M18 57mm無反動砲〉 (57mm RECOILLESS RIFLE M18) 21, 18, 16, 22

〈ライトウェイトガスマスク〉 (LIGHT WEIGHT GAS MASK) 34, 33

〈12.7mm M2重機関銃〉 (U.S. .50 CAL M2 HMG AIRCOOLED) 58, 52, 57, 61, 54, 60

〈12.7mm弾薬箱〉 (U.S. .50 CAL AMMUNITION BOX) 41(閉状態), 38, 41(開状態), 37

〈M1A1トンプソン短機関銃〉 19, 20, 17, 23, 24

〈M1ガーランド小銃〉 27, 2

①は好きな状態を選びます
②は好きな状態を選びます
③は好きな状態を選びます
④は好きな状態を選びます
⑤は好きな状態を選びます
⑥は好きな状態を選びます
⑦は好きな状態を選びます
⑧は好きな状態を選びます
⑨は好きな状態を選びます
⑩は好きな状態を選びます
⑪は好きな状態を選びます
⑫は好きな状態を選びます
⑬は好きな状態を選びます
⑭は好きな状態を選びます
⑮は好きな状態を選びます
⑯は好きな状態を選びます
⑰は好きな状態を選びます
⑱は好きな状態を選びます

ランナー(枝)についている組み立てシグを利用して三脚の角度を決めて下さい。

ランナー(枝)についている組み立てシグを利用して三脚の角度を決めて下さい。

手でも曲げて形をつくります

手でも曲げて形をつくります

小火器セットのバラ売りはしませんので御了承下さい。 TAMIYA PLASTIC MODEL CO. PRINTED IN JAPAN

